（一）第百四十四號　（金曜日）　明治四十二年六月二十五日　（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　（明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●本月中旬貿易旬報

關稅局にて調査したる六月中旬の外國貿易旬報左の如し

區別	本年分	前年同期
輸出品價	三四五、一〇五	三八二、五五〇
輸入品價	一、一七一、六〇一	一、〇二九、八六六
合計	一、五一六、七〇六	一、四〇八、四一六
輸入超過	八二六、四九六	六四三、三一六

本年貿易額の港別左の如し

本旬分

港別	輸出額	輸入額	計
仁川	三四、九一九	五三三、九三〇	五五八、八四九
釜山	八七、四三七	二三四、六四二	三二二、〇七九
元山	二七、一六三	一〇一、八八九	一二九、〇五二
鎮南浦	五四、〇九二	一四五、九五九	二〇〇、〇五一
京城	……	八二、一八六	八二、一八六
群山	二四、五九六	一五、三六〇	三九、九五六
木浦	七、五一〇	一三、四七四	二〇、九八四
馬山浦	六〇八	一、二四九	一、八五七
清津	四一四	一六、三三四	一六、七四七
城津	二、一六九	四、七一五	六、八八四
新義州	三三、〇七八	二三、九〇三	五六、九八一
計	三四五、一〇五	一、一七一、六〇一	一、五一六、七〇六

次に本年各港の貿易額を前年同期に比較するに左の如し

前年一月以降本旬迄累計

港別	輸出額	輸入額	計
仁川	一、一九六、七九一	八、八三〇、六五六	一〇、〇二七、四四七
釜山	二、〇五一、三三六	三、八六七、六二七	五、九一八、九六三
元山	六〇〇、七五七	一、三八〇、〇二三	一、九八〇、七七九
鎮南浦	七一〇、二四九	九七五、八一六	一、六八六、〇六五
京城	二、四七四	一、四六〇、七四三	一、四六三、二一七
群山	七六一、五〇一	三五三、六四二	一、一一五、一四三
木浦	四四四、二五一	三〇七、六四六	七五一、八九七
馬山浦	一〇一、八五二	一八五、一六〇	二八七、〇一二
清津	七七〇	一〇三、五九六	一〇四、三六六
城津	一三三、七九一	一五三、八七六	二八七、六六七
新義州	三七四、九七七	二七七、六七〇	六五二、六四七
計	六、三四七、七四九	一七、九〇七、四四四	二四、二五五、一九三

輸出重要品表

品名	本旬本年分	前年同期
米	二七、一三〇	一八八、〇〇〇
大豆及小豆	六三、一七二	五五、一四一
鮮魚乾魚及鹽魚	八、二四二	四、九〇〇
棉花	……	……
牛皮	三、五三八	八、一一六
人蔘	一二	……
生牛	一四、九七六	三、六六五

輸入重要品表

品名	本旬本年分	前年同期
食鹽	三、九九八	一三二、一〇九
清酒	一〇、七〇三	四、七二七
砂糖及精糖	一八、五八七	四九、五二三
打綿	二、四四二	一、二〇〇
生金巾及シーチング	五一、一五一	一七、三三八
晒金巾	二五、三三六	三一、三三四
日本木綿	二七、九四八	四九、三三九
麻布	二四、五八〇	一三一、〇九〇
綿布	二五、八〇三	三〇、〇八一
煙草	三三、五五三	一六、三三七
石油	二四二	一、六八八
マッチ	五、一四五	一一、四三三
石炭	三〇、二九〇	四一、七六三
木材及板	一八、六四〇	五二、六一三
綿織絲	三三、六七三	三一、八三〇
熟鐵	七、八六八	一四、〇二一
セメント及石灰	三三、三六六	一六、三七九
紙	六、〇三九	一一、〇七一

文苑

●一場の夢●　殺到生

それもこれも俺れが意氣地がないのだから許して呉れね、お前の話しは能く解つた、唯俺らア德坊に別れたのが悲しい、死ぬ時は何といつたか嘸ぞ此の俺れを戀しがつたらう、恨めしく思つたらう……お前や德坊に別れてから滿四年、俺れも随分苦勞をしたよ、併しお前が此のやうな難儀をして居るとは思はなかつた、能く辛抱して呉れたの唯俺らア此の姿でオメ〳〵と歸つて來たのが面目ねえと尚も言葉を續けやうとする時傍に寢て居つた德坊が泣き出した、嗚呼今のは夢だつたか、寢汗がビッショリとして居る、

●昔と今●　低個生

沿道人垣を築き査公は諸所に佇立して四邊を警戒して居る折柄煙花一發殷々として空に響いた、と思ふ間もなく騎馬に跨つた一隊の儀仗兵槍を捧げつゝ歩武粛々と進んで來た、其の後より二頭立の箱馬車に乗つて居るのが曾禰統監査公は敬禮をした、沿道の人は萬歳を呼唱した、時に一人のお爺さんしきりに背伸をし眼を小擦りながら見て居つたが連れの男に向ひ「荒助さんも豪いものだの、わしが小さい時には泣かせてやつたことも度々あつたで……」

佐倉宗吾

（百十五）　眞龍齋貞水講演

池永五郎左衛門が最とも軟かに申し渡されると、其御情けある御言葉に、妻のお美禰は　美「エー、委細承知仕りましてございます」口では云へど心の中、よもやと思ふ其所へ、斯る御捕方が參り、子供三人の者を捕縛しめられました、其哀れさ云ふものは言葉に述べ難い、一室の内より駆出したる宗五郎の養母　母「御役人様の前でございますが、御願ひ申し上げます、唯今御縄を頂戴仕りまする其前に、せめての事に子供等から宗五郎妻に、衣類を着換へさせたく存じます、暫時の間、御猶豫御聽濟み願ひ上げ度存じまする、是迄の間、村役も勤めましたる者なれば、餘り見苦しき所の扮裝にて御縄を頂戴いたし、引かれ行きますると如何にも心苦しく存じまするでございます　宗「イヤ其儀相成らぬ……猶豫相成らぬ……者共早う、是なる親子の者を、縄うつて引立てね　五「是はしたり中島殿、又しても荒々しき事を仰つしやる、なぜ左様に氣短かな事を仰つしやる、老母は有繋に、先代宗五郎の妻だけあつて唯今の一言、尤も至極なり……ア、コレ〳〵其儀は仔細ないから、着換を致せ、寛爾と支度に及べ　母「有難う存じます、中島宗四郎が　宗「是は是は誠に以て池永殿には、動ともすると兎や角仰つしやるが其御いたはりには及びますまい　五「是はしたり、貴殿のやうに、動ともすれば荒々しく申さるゝ計りが上役人では御座らぬ、何時の間の習慣でござる、默つて御控へ召されよ　フウム、貴殿などは女小供のため、左様に荒々しく仰つしやるが、斯りや臆病と申す者でござる　宗「何と仰つしやる、臆病と迄云はれて、如何にも殘念に思つたが池永は老巧の人にて、泰然自若として控へて居るから、如何ともする事が出來ない、其間にお美禰が衣類を取出し　美「サア宗平や、喜六、三之助、是から御父様の居らつしやる處へ參つて、御父様に御目に掛るのだから、御衣服を着換へて參るのですよ　宗「母様、是から御父様に、御目に掛れますか　美「久々にて、御父様が御目に掛れますよ　宗「ア、嬉しい、喜六や、御父様に會はれますよ　喜「ハイ、是から御役人に従いて行つて、御父様に會ひますと、自家へ戻れますか　美「それは御父様に御目に掛つて、御父様の御機嫌を伺つて、直に自宅へ戻つて、以前の通り御父様と一緒に成れるから　左様心得て、早く支度をして參るのです　宗「ア、嬉しい、兄イさん、御父様に會ひます……坊や、御父様の處へ行くのですよ」お美禰は喜ぶ子供の顔を見ては胸も張り裂くばかり、頓がて衣服を着換へさせ、自分も衣服を着換へて、今はや此時、親子五人の者は、腰縄を打たれまして、悄然と引立てられる、お美根は子供には、直ぐに自家に歸れると申すやうなものゝ、是が今世の家の見納めかと思ふと、足も進み兼ねる、すると村内の者が行つて來て、小供が先立ちになり　甲「イヤアー、名主様の坊ッちやま、衣服を着換へて御繩を懸けられて、何處へ行かつしやる　乙「坊ッちやま、何處へ行かつしやる　丙「イヤー宗平様ア、そんな身裝して、何處へ行かつしやる」小供は小供だけに周圍を取卷いて、名主様の坊ッちやま、繩に懸つてゐる、何處へ行かつしやる、役人衆、坊ッちやま勘辨して下つせゑと、小供心にワッと一同が泣出す村内の者は　○「名主様の御新造様、何處へ御出でございます……御役人様、その御新造や御子様は、何にも御存じねんでございますから、御助けを願ひ度ございます　△「御役人様それは餘り酷うございます御老母様一向何にも御存知でねんでございます　役「控へろ〳〵ッ、其方共が存じて居る所でないから、控へろッ」と叱られる

本回挿入せる寫眞版は宗吾が妻子の命乞をなして許されず遂に自ら入水して死し此物語に關係淺からざる光全和尚の遺物即ち下總の佛頂寺なり當時の本堂は年と共に頽廢し先年の大風雨に轉倒して其面影を存せずなりしより土地の人々更に形の如く建立したるものは即ち是なり

（下總の佛頂寺）

京城理事廳認可

朝鮮紳士録

豫約特價　金三圓

●豫約延期と申込者

朝鮮紳士録の豫約申込は六月十五日にて締切の豫定に有之候處遠隔の地方に在りて空敷申込の機會を逸せんとせらるゝ諸君より陸續として延期を要望せらるゝ次第も有之旁以て大方各位の御勸めに任せ京城理事廳の認可を經て今回更に左記之通り期日を相延ばし申候

豫約申込締切期日　八月十五日

送本期日　九月十五日

朝鮮紳士録の發刊に賛し豫約を申込まれたる芳名の梗概を示せば統監府、軍司令部、各理事廳、各民團役所、各商業會議所、韓國諸官衙、市原博士、熊谷民長、明石少將、鶴田龍田、日韓殖産會社、大島中將、中村再造、和田議長、內國通運會社京城支店、帝國白三十銀行支店長、渡邊悅之輔、香坂法務院長、森安吉、關運輸部長、池田ドクトル、林田龜雄、韓國貿業會社、鈴木郡兒、大久保辯護士、山村辰熙、牧野豐田、佐藤義和宮廳問、鐵道管理局、岡田辯護士、村上天真堂、佐々木郵便局長、森川書記官、井上宮內府書記官、森山美夫、酒井三郎太、小杉謹八、漢城共同倉庫會社、山口太兵衛、岩井警視、淺見評定官、鷹取虎次郎、安東病院長、若林警視總監、菱田事務官、兒島高里、津輕宮內書記官、國枝校一郎、岩淵務局長、能學部次官、佐々木醫學士、古城管堂、村田素一郎、佐治篤三、遠山天一銀行支配人、善隣商業學校、中島司馬之助、荻田書記官、山本朝日通信員、櫓崎毎日通信員、東洋拓殖會社、韓瓦斯會社、東洋生命保險會社、遞辰馬、大橋次郎、十八銀行、百三十銀行、渡邊中齋、東京博文館、三越吳服店、忠淸北道警察部、仁川木材合資會社、セウルプレス社、木內次官、本願寺、久保書記官、松原榮、岡崎日韓瓦斯專務取締役、鈴木坂屋、興國寺、森原書記官、權藤經理課長、遞元康丸、八見次郎、藥山國彥、橫田判事、井上宣文、度支部文書課、山形中佐、高木事務官、信夫仁川理事官、高橋興銀支店長、森務次、森勇三郎、矢野義二郎、鈴木警視、藤井辯護士、天神林大尉、德久米藏、朴內相、藤木利右衛門、林田助役、石井周平、大塚書記官、龍山印刷局、岡次官、飯泉幹太、生田書記官、藤田軍醫部長、加來榮太郎、金秘書官、仁川水產組合、東京丸善會社、趙農相、日本郵船會社、宅合名會社、東京三井物產會社、竹田津三平、ジエーエス、ミッチエル、水原勸業模範場、京畿道觀察道、本田農學博士、工業傳習所、奧田貞次郎、桑野良太郎、秋田穀、永島控訴院長、中山書記官、閔宮相、水原農林學校、大韓勸農株式會社、松浦源治、ホームス英領事、セールフレザー株式會社、龜山釜山理事官、高崎公州事務官、石原釜山民長、高瀨副理事官、金仁川府尹、尹咸北觀察使、柳平北觀察使、崔事務官、小林道書記官、田結道書記官、木浦朝日興業會社、釜山食糧會社、東京大丸吳服店、東洋協會、大日本麥酒會社、大庭平壤民長、渡谷助役、林警察所長、ブラックマン、京城府民會長、李平南觀察使、李學務局長、朴慶北觀察使、函分檢事總長、竹內道書記官、大田內藤氏雄、李相若、松平塚理事官、元山吉田秀次郎等の諸君に於以上は誠に九牛の一毛にして唯豫約の一班を示したるに過ず候

●豫約延期と申込者

▲夏季飲料

ブランデー・ブドー酒・ウイスキー・シャンパン

キリンビール・金線印サイダー・シガー・シガレット

卸小賣

東京新橋　洋酒食料品　洋煙草煙管　金物罐詰類

直輸入商

京城本町二丁目　同三丁目

辻屋

本店　電話一四八番

支店　電話二六六番

卷煙草

京城　廣江商會

電話五七六番

移轉廣告

病室完備入院隨意

從來の向（元韓城新聞社跡）へ移轉す

十全病院

電話七三七番

龍

最上醬油

眼科專門

江頭眼科醫院

京城本町一丁目參十四番戸　元龜井跡（電話三十三番）

醫學得業士　江頭富雄　前漢城病院眼科部長

▲美術半衿帯上 其他 紐類各種
京城明治町一丁目
[illegible]ゑり徳商店

京城新報

所謂積極的政策

永遠に持續する見込あるか

熟らく韓國政府の爲す所を見るに常識を以て判斷する能はざるが如き事あり、其一例を擧れば、曩きには第一銀行の紙幣發行額に對して千分の二五の發行税を課することを決定して正に實行せんとし今は忽ちに之を變して六分に相當する補給利子を與へて中央銀行を設立せんとす課税すると補給利子を與るとは全然反對の事實也、玆に至て矛盾も亦極まれりと云ふべし、乍併一方より之を觀察すれば消極的政策より積極的政策に推移したるものとも見做されざるに非ず、果して今後總て斯の如く積極的政策を取らるゝとすれば余輩は決して之を批難せざるべしと雖も、唯之を遂行するに於て其方法宜しきを得ざれば永續する能はず、勢ひ矛盾の不面目を呈するに至るべし、彼の沿岸航路の如き政府は二三の汽船業者に航路補助金を與へたるも收支償はずして開始後幾干ならざるに其航路を停止せざる可らざるの狀況に至れるに非ずや、斯の如き持續せられざる積極政策は何等の益なきのみならず却て其發展を支障するに至らん、當局者に於ては沿岸航路に關し素より調査研究したる上に於て補助金を與ふるに決したるものならんが、其結果が斯の如くなりとすれば杜撰の評は免れざるべし、今後の問題は補助金を增加し以て繼續するや否やにあり、要するに積極的政策を持續するには大なる財源に依らざる可らず、其畫策なくして積極的政策を遂行せんとすれば忽ち躓きて唯倒るゝの外なし韓國政府は中央銀行を補助する如く、今後總ての事を積極的方針によりて決行するとならば、果して之に應ずるの財源ありや、韓國政府現在の財政は頗る窮迫し財源亦涸渇して僅に餘裕を生ずるの域に達する能はず、然らば如何にすべきか、日本政府の補助を仰ぐべきか、日本政府の財政も容易に應ずべきの現況にあらず、結局日本政府の裏書に依りて外債を募るの外なからむ。日本政府の裏書によりて外債を起すとすれば其責任は素より日本政府にあり、故に此裏書と雖も際限なく爲さるべきものに非ず是れ帝國議會即ち國民の許さゞる所なれば也、此場合に遭遇すれば折角取り來りし積極的政策も半途にして頓挫するに至るべし、事玆に至れば從來經營せし積極的施設も南柯の一夢と化し去り、其跡影は今日の狀態よりも更に哀れなるを見るに至らんか、然らば他に永遠持續すべき財源あるべきか、余輩不敏にして積極的政策を取るに就て財源は日本政府の補助若しくは外債を起すの外他に良策あるを知らず、賢明なる當局者は此の以外に何等の財源あるを示し得るか遮莫此際其財源を明に示されんことを希望するもの也

外報一束

●英國の政局 英國の政局に於て注目せらるゝは二箇の極端なる不柔順の現象爆發せしにあり即ちウエールス選出議員の一部は政府がウエールス教會廢止案の一時放棄を決定せるを憤怒し居れり又多數の穩和的政府黨議員は財政案中土地税の項目に反對せる爲和[illegible]に至るべしと[illegible]

●クリート問題 希臘外相ピション氏は[illegible]めん事を求めたるものなりと

●借款と米國 既報の如く米國々際[illegible]意する筈にて其[illegible]米國の清國に於ける[illegible]大隈伯並に望月小[illegible]

東京電報

▲答禮大使着京 清國答禮大使振貝子殿下一行は廿三日天津出帆廿六日頃馬關に着せらるゝ筈

▲軍機大臣の彈劾 軍機大臣鐵良は兩廣總督其他巡撫より陸軍の不整頓及無能の彈劾を受け憂慮の余り病氣と稱して引籠れり

▲首相と高商問題 桂首相は高等商業學校事件に關し三團体委員及び澁澤中野氏等を招ぎ專攻部廢止は六ケ年間延期のことに閣議にて決したるも其他は讓歩する能はずと言明したり

▲保證人團大會 別項首相の言明に關し保證人團は二十九日神田青年會館に於て學生大會を開き報告を爲す筈なり

▲岡部領事要件 岡部安東縣領事は安奉鐵道工事及び鴨綠江鐵橋架設に關する要件の爲め取り急ぎ歸任の途に就けり（以上二十三日午後發）

▲財政權の問題 中央銀行は韓國法律を以て設立する方針なりしも斯くては財政の主權を韓政府に委する事となるを以て其の以前に一切の權利を我國に收むる爲め兩國の間に協約を締結し韓國政府の任意に依りて左右すべからざる發則を設くる事に伊藤公曾禰統監桂大藏大臣の間に纏まりたるよしにて曾禰統監は近々韓國政府と協議すべしと

▲韓太子の伊公訪問 韓太子は昨二十五日大森恩賜館に伊藤大師を訪問せられ御一泊の筈（二十四日午前發）

▲討伐隊の行賞 韓國暴徒討伐隊論功行賞は本日一部の御裁可あり明二十五日發表さるべし

▲行賞發表順序 討伐隊論功行賞の順序は第十三師團第十二旅團兵第廿三聯隊第廿七聯隊の順序にて下士卒より順次將校に及ぶべし

▲在韓小學校特典 文部省令を以て本日在韓國日本小學校兒童及卒業者は他の學校へ入學轉學の關係につき明治三十三年勅令第四十四號發布の小學校令に依り設立したる市町村立小學校の兒童及卒業者と同一の取扱を受くる事となれり

▲十三師團一部の行賞 駐韓軍行賞十三師團一部發表故梶原大尉は功四級勳功百五十四勳勞七十八功勞百〇八なり

▲對清同志會組織計畫 益田孝大倉喜八郎近藤廉平諸氏其他の實業家は清國の地理上優勝の地に鐵道材料供給に當る計畫にて資本金百萬圓（或は千万圓の誤か）にて對清同志會を組織することゝなれり（以上廿四日夕發）

雜報

●伊藤公來韓期 去る十九日東京發古谷秘書官より其の筋へ達したる通報に依れば伊藤公は七月一日古谷秘書官、小山技師等を從へ東京出發途中一二泊の上宮島又は下關より軍艦に搭じ四五日頃仁川着直に特別列車にて入京す可しと

●統監の開放主義 伊藤公の統監時代に於ては新聞及び通信に對し極めて秘密主義を採りたるため動もすれば誤說を傳ね韓國政客等をして揣摩臆測の弊を生せしめしが新統監は今後かゝる弊害を生せしむることなからしめんが爲め一般新聞通信業者に對し差支なき限り懇切に說明を與へ以て誤解なからしめん樣注意すべき旨を下僚に告示せりと尙ほ此等新聞通信社に對しても一視同人主義を採る筈なりと

●留別大園遊會 既報の如く伊藤公の留別大園遊會は藤公着京後一兩日を措き統監邸の後丘に於て開催さる可由なれば多分來月六七日頃なるべし

●俵學部次官の歸任 東上中の俵學部次官は廿四日午後三時半新橋發歸任の途に就けり

●前副大統領の出發 前米國副大統領フエアバンクス氏は廿六日京城出發平壤に至り廿八日平壤出發安奉線にて滿州北京方面に向ふ筈

●韓皇后と宮中製糸 韓皇后には在龍山大韓婦人會附屬養蠶講習所にて殺蛹し二十四日より宮中係員の手に依りて製糸する筈なるが韓皇后には時々臨御あるべしと

●臨時參與官會議 曾禰統監は昨廿四日大臣會議を開きたる後統監府樓上に於て臨時參與官會議を開き統監政治の方針に就て訓示する處ありたり

●輸出牛檢疫法案 輸出牛檢疫の件に關しては屢々報道する所ありしが同檢疫法案は廿四日內閣會議に提出されしを以て近々發布さるべしといふ

●防備隊と收用地 海軍防備隊の所在地北韓永興郡に於ける本海軍收用地々税は之れを課せざることに閣議を以て決定し上奏裁可を經たりといふ

●驛屯土と小作料 東洋拓殖會社が度支部より引繼がるべき驛屯土の內四分の三は東拓會社に於て目下調査中なるが引繼ぎたる後は株券拂込の時機まで賃貸價額百分の六の小作料を度支部に支拂ふ筈なりと

●統監の道書記官招集 曾禰統監は廿四日午後一時より各道書記官を統監府に招集し過般來各部に於て開催したる書記官會議の報告的說明を聽き終つて之れに對する結論的訓示を與へたり當日は各部局長も參列せり

●古谷秘書官の今後 統監交迭と同時に古谷秘書官辭任すべしとは世人の唱する處なるが確かなる筋より聞知する所に據れば古谷氏は當分の內現官の儘にて留別會后伊藤公歸朝の際東京へ出張を命ぜらるべしと京通は報ぜり

●產業獎勵補助金 全羅南道潭陽郡染織傳習所同羅州竹器傳習所、光州織物傳習所に對し產業獎勵補助金として昨年度農商工部より下附したるが本年も同じく其下附方を申請し來りしを以て目下同部に於ては詮議中なりといふ

●西北學會と後進 今般平安南北道の儒生間に於て後進者獎勵の爲め同道內の各私立學校生徒中より撰拔試驗を行ひ優等者を新進有志者の設立に係る西北學校へ入らしめ尙學力優秀の者は日本又は歐米へ留學せしむべしと

●韓國模型圖の注文 來年四月より開催せらるべき名古屋に於ける關西聯合共進會及福岡に於ける九州連合共進會に韓國農商工部より出品する筈なる二十萬分一韓國模型圖は今般其製作を福岡市釜瀨新平氏に依賴することに決せりと

●渾春税關の設置 清國政府は一昨年渾春を開市場と爲す旨宣言したるも爾來今日迄關税機關設置の運に至らざりしが今回韓國政府に於て清津港を經由して間島及渾春地方に輸出入する貨物の免税を實行する事としたるを以て清領に無税貨物の出入を防止する爲め税關を設置する事に決定したりと

●新三税徵收額 韓國新三税本年度の徵税豫定額は合計八十六萬六千圓の由なる事は既報の如くなるが最近迄に納附したる金額は約六萬圓にして咸鏡南北道及全羅道方面の收税成績良好なりと尙在留外人（日本人も含む）の納付したるものは一人もなき由

●トロール漁法試驗 我農商務省より漁船萬生丸を韓海に派遣しオツタートロール漁業試驗を爲す筈にて下慶南巨濟島沖鴻島より三海里の沖合に於て田水產講習所技師乘り込み去る二十一日頃現場に來着し農商工部にて試驗差支の有無を問合せ來りたるに付同部にては差支なき旨返電せしに依り兩三日中より九月末迄同試驗を爲す筈なりといふ

●漁業團体の出願數 漁業法發布以來內外團体の出願に係る免許漁業の接受數は合計三百二十七件の多數に達せり其團体名左の如し ▲石川縣水產組合聯合會組長代理室谷久平五十八件▲島根縣水產組合聯合會組長藤本充安百二十一件▲福岡縣漁業獎勵協會理事石川彌市十九件▲佐賀縣韓海出漁組合長福地榮十八件▲佐賀縣韓海出漁組合群山支部長原田有一二件▲長崎縣遠洋漁業團長秦豐助九件▲山口縣韓海漁業團長內田猛四郎三十件▲鎭南浦水產株式會社長五島榮藏四十三件▲釜山水產株式會社長矢橋寬一郎九件▲濟物浦岡山縣漁民團長高尾浩五件▲巨濟閑山加助漁基組合長玉宣煥十三件

●鑛業所擴張費決定 平壤鑛業所の擴張せらるべきことは屢々報導せし如くなるが二十四日の官報を以て其費用金九万圓を豫備金中より支出することに決定せし依て其の內容に付き聞くところに依れば九萬圓の中五万五千圓は高防山の事業擴張費と同山の鑛索起點より松蘿山に到る鐵道布設費にして殘り三万五千圓は試錐事業費なるが該事業は向ふ一箇年間十萬圓の豫算にて來年度に六万五千圓を支出すべき筈にてダイヤモンド附ボーリングは一臺二萬圓のもの二臺を購求する豫定なりと

●京商議員候補者

高木德彌君

君は岐阜縣の人明治二十八年渡韓して韓人向雜貨商を開始し以て今日に至つたのである君の商ひ振りはなかく振つて居る即ち雞林八道到る所の韓人問屋に連絡を通して商取引を爲し而して此等の韓人問屋は每に京城に來り君の店に就て時々の物を仕入れて歸るのである、君は又縱橫の才に富んで居る所から種々の方便を用ひ盛んに韓人側の廣告に骨を折つて居る、ろして此等の問屋との商取引は悉く延取引と云ふに至つては實に大膽の遣り方であることか分かる此膽略ある商ひ振りこそ今日の店の繁榮の素因であらう三十八年推されて商業會議所の議員となり爾來每期當選して今日に至つたのである

池田長兵衛君

君は商人中の商人と謳はるゝ大阪育ちの紳商である、明治三十五年京城に來り第一銀行の向側に歐米雜貨店を開き韓人を相手に盛んに賣出したのである、所が三十九年に至り愈々白銅貨の引上が實行せらるゝことゝなるや商略盆涌前途の大勢を悟る君は白銅貨の引上が如何に韓人側の購買力を減殺するかの機微を洞察すると同時に商品を改めて顧客を邦人に求むるの策を取り直ちに店頭を一變し以て今日の盛大を致したのである次で君の公職としては四十年京城商業會議所議員に推されたのと日本橋衛生組長とである今回推されて候補者に立ちしは吾れ人共に喜ぶ所である

●鴨綠江架橋工事 鴨綠江架橋に付ては既に諸般の調査を終り目下工事準備中なるが愈今秋より橋脚工事に取り掛り全部落成は四十五年春期ならんと因に同橋は橋節の一部を開閉する樣になし帆船の航行に差支なからしむと云ふ

●大韓勞働協會の解散 大韓勞働協會は一進會の勢力を擴張せんとの目的を以て起りたるものなれば官衙の請負工事等にも便宜を與へられ近時やゝ活動せんとしつゝありしに會長尹始柄が犯罪の爲め拘留せられたるより經營上困難を生じ遂に去る廿日勞働協會を散解すべき旨其筋に屆け出でたりと

●行路病者と收埋費 漢城府內に於ける一月十五日より六月三日に至る行路死亡人は二十二人にして國庫より支出したる收埋費は四十四圓なり

●大邱管下農事報告 大邱觀察道にては各郡守に對し農事報告に付訓令を發せるが开は從來各郡より五日に農事報告を爲しつゝありと

●主事の景福宮拜觀 二十三日昌德宮內秘苑を拜觀したる郡主事は二十四日景福宮を拜觀したりと

●李容九氏邸の賀宴 一進會長李容九氏は二十二日親戚知己を自邸に招待し氏が母堂の還曆宴を張りたりと

●荒井次官の歸任期 目下上京中なる荒井度支部次官は二十四日頃東京出發歸任する筈なりしも用務の都合に依り三四日延引三十日頃歸任すべしといふ

●學務視察員の出張 補助學校視察の爲め大野學部主事は二十三日全南地方へ出張せり

●桐原警視の歸任 南部警察署長桐原彥吉氏は曩きに警察事務視察の爲東上中なりしが二十五日夜歸任すべしと

●排日派首領の歸韓 豫て渡日中なりし西北學會員にして排日派の首領柳東說は去る二十日歸韓したりと

●漁業者の注意 漁業者中通俗に裸潛りと稱し裸体の儘海底に沈みて漁藻又は鮑等を採取する者あるが此の類の漁業は即ち漁業法第十條の屆出漁業に該當するものなるを以て同法施行細則第二十條に規定する第三種屆出漁業として日本人なれば理事官に韓人なれば府尹又は郡守に屆出て鑑札を受けて漁業に從事すべきものなるに右の漁業者が漁場に至る爲め船舶に乘込み又は一時漁獲物を收容する爲め船舶を使用することあるも是等の用に供する船舶は所謂母船の類にして之を漁船と稱する能はざるが故に假令此等船舶に裸潛り業者が乘り組むことありとするも漁船を使用する漁業と云ふ可らず隨て此の船舶に對しては特に鑑札を受くるの必要なきも此船舶に乘組みて漁場に出入する裸潛り業者は其の人數に應じて各自に第三種屆出漁業鑑札を受けざる可らざるは勿論此の場合に於ける漁業税は漁業税法第二條の第十號中漁船を使用せざる第三種申告漁業に相當し一漁業者每に金五十錢を納付すべきものなるに中には右の如き船舶を漁船として鑑札を受け殆ど之れに乘組める裸潛り業者を以て從業者とし各自に鑑札を受けずして漁業し得るが如き考を有する者あれども之れは明かに法律に違反するものにて裸潛り各自が何れも鑑札を携帶するに非ざれば漁業するを得ざるものなりと當局者は語れり

公人私人

▲上林敬次郎（度支部書記官） 二十三日入京山本へ
▲秋本豐之進（鎭南浦理事官） 同日入京山本へ
▲眞野秀雄（海軍主計大監）同日入京天眞樓
▲石津和風（鳥取縣內務部長） 浦尾へ投宿中二十三日平壤へ
▲齋藤總太郎（同縣水產試驗場長） 同上
▲飯田章（京畿警察部長） 不知火へ投宿中同日歸任

近事片々

▲載寧 驛屯土の引繼に就て度支部と東拓との間に悶着起る併し是は早晚來るべき事
▲此悶着は當に載寧丈けにては濟むまじ總ての驛屯土に故障起らむ寧ろ是れ當然也
▲通常 土地賣買に於てすら故障多きに何れが驛屯土やら判然せぬ位では迚も運ばず
▲何れか一方に於て匙を投げ出す時に始めて汗漫たる引繼をなす位が落と心得可き也
▲李完用君も亦辭表を出し信任程度を試みるべしとの說起る眞僞素より保せざる也
▲若し辭表を聞屆けらるれば宮相たるべき準備はチヤシと整へりと是も些と臆測也
▲曾禰統監は無論現狀を維持する爲に完用內閣を擁護すべし然らば完用君は萬々辭職
▲內閣の更迭もなし從て次官連の更迭もなしとすれば何れの點に於て變更すべきか
▲本年も亦觀察使を召集するとの事なるが隨分無駄な事をするもの是亦御禮の一か
▲新統監れ目見への爲とあらば是も據なし併し無駄事は可成控へ召さるがれ爲に候
▲觀察使中には隨分評判も惡く實際不適任の者もあるらしい此際更迭するも亦可也
▲各道書記官所謂豪傑連も追々歸任せらるべし中央政府の方針は能く徹底すべきか
▲清國に於ける米獨の爭ひは殆ど龍虎の鬪ふ概あり今後米國の商權頓に進張せんか
▲獨逸の外交商略は天下獨歩にして往々機先を制するも却て是が爲に頓挫を來たす
▲能く泳ぐ者は溺る獨逸は何れの處に於ても巧に優勝の地歩を占む爲に嫉視を受く
▲西澤島一名プラタス島は結極清國政府が買收する事となる價格は未だ定らざる也
▲此間題は大体に外交の爲に犧牲とならずして濟む併し金額に於ては或は保し難し
▲樺太は今尙ほ暗黑也我政績は出漁民皆官憲の壓迫に逢て激憤す借も新領土は滅茶々々
▲役人多くして事務少く閑散の餘り漁民に入らざる干渉を試む度し難き役人共かな
▲如斯は獨り樺太のみならず官憲萬能の結果は玆に至る戒愼せよや木葉役人共喝ッ

外報一束

●英國の政局 英國の政局に於て注目を惹くは二箇の極端なる不柔順の現象爆發せるにあり即ちウエールス出身議員の一團[illegible]は政府がウエールス教會廢止案の一時放棄[illegible]を見又[illegible]に至るべしと[illegible]を決定せるを憤怒し居り又多數の穩和的政府黨議員は財政案中土地稅の項目に反對せる爲[illegible]

●クリート問題 露國外相ビション氏[illegible]は土耳其の重要[illegible]めん事を求めたるものなりと

●借款と米國 既報の如く米國は國際[illegible]設計從來[illegible]清國借款問題[illegible]意する筈にて其[illegible]米國の清國に於ける[illegible]政經濟の利益を增す上に於いて極めて重要[illegible]期待せらる[illegible]

相談の相談

（何んでも御相談に應じ升）

◎問 私は過般來感ずる所ありまして斷然禁酒を決行致して居りますのですが或る友人は此の事を何處でか聞いて來まして私に對つて申すには君は飲酒を禁じた相だが、誰でも飲酒すれば多少の缺點を曝露することは免れない、君の如きも確に其一人であるが、夫れと同時に長所美點を發揮するものである、君は其の中でも最も其長所を遺憾なく發揮する人である、君は酒を飲むが爲めに他人に可愛がられ調法がらるゝのだ君にして酒を廢めたら平々凡々たる人に化して終う、時に小失策、小無作法があるにしても夫れは君の發揮する長所で償ふて餘りある、依然大に飲るがよい、酒を廢めるなぞと云ふ弱い事で何うなるものかと、忠告されました、私も成程然う云はるれば勇氣が亡なつた樣に思はれる、他人との應酬も悧い、舊の如く飲酒した方が勝いかしらとも迷ふのです、ただ恥かしい話ですが一つ御考へを伺いたいものです（苦惑子）

◎答 私は禁酒を斷行（出來るものならば）なさる事に贊成する、何となれば一度禁酒を念ひ起たれる迄には其長短を比較稽查なさつた上の事と思ふ、既に漫然と廢されたので無とすれば酒に依つて獲る利益と亡ふ所との計算は明瞭であらう、藝者ぢやあるまいし幇間ぢやあるまいし酒の上で可愛がられ調法がらるゝと云ふてさは一種の侮辱である、即ち「彼の男は面白い奴だホントに賑かだから少しは醉興もやるけれどね、併し何にも商機の驅け退き、財政の整理をさせるのぢやあるまいし、大した事にはなりやせんサ、招べ聘べ」と云ふ樣な調子で自己の人格を無視せられて居るのであると云つても過言ぢやないと思ひます、又酒を廢めて勇氣がなくなつたと云はるゝのは御考へ違いであると思ふ、たゞ聞き下さい、彼の花見なぞに參りまして知らん人の幕張り中なぞへジヤシヤツに半股引かなんかでアーコりやいゝ〳〵と飛び込むと云ふ如きことは御酒家には通例のことであるが、此れなぞは勇氣があるからではなく、野性の發揮に外ならぬ、即ち蠻勇である、世界流でなく不具的豪傑流である、モウ此れは歡迎せられぬ酒を飲まぬと頭腦が不明瞭になるので困るとは禁酒當時誰れでもが口にさるゝ所であるが、此れは少しの間のことです中毒期に入つた方は皆左樣です、モルヒネでもアルコールでも同じですが半年も辛抱なさる間には乾度癒る、醫者ではないが請合です、比例上七の長所は一の短所も補い兼ぬるものです、九仭の功を一簣に缺くとも、百日の説法屁一つとも申しますからね、非常に卓絶した方は凡慮を以て測ることは出來ませぬが、普通一般の方に向つては私は以上の趣旨を以て禁酒若しくは節酒何れにも贊成致します、失禮致しました（係）

●警察署へ遺言狀

▲深川樓吾妻抱子の事共 仁川は敷島遊廓深川樓の吾妻こと荒田すか（三十）と云ふは去月七日同樓を逃走し行衛不明となりたれば樓主より直に警察へ捜査願を出し又人を各地に出して捜査に勤め居たる所本月上旬仁川警察署に左の手紙着したれば署員は容易ならぬ一大事と直樣捜査に努めたる所此の程開城にて捕はれ仁川に送られたれば署員は其の不心得を諭し樓主に下げ渡したりと

一筆書き遺し置き候へは私事我心から詐欺をする樣な事でありましたか漸やく警察の御力で助かりました處惡者は私を取られなんだ故又深川樓の方へしらしそれで私は捕はられたもの〻處へ歸されまするのでしいかにに行き存じましても身が惡いので娼妓はする事出來ませねば金が出來す其れ故生きて捕へられひどいめに遭はふより死んで此の苦を逃かれます故れ氣の毒ながらどなた樣でも此の手紙御讀み被下候れ方は何卒私しが此世にないものと云ふ事を

山城相樂郡瓶原村口畑炭本利三郎方 荒田金太郎

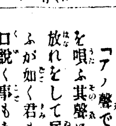
大阪市西成郡萩茶屋停車場中野方 大永まさ

の二けんの內へ御知らせ下されませ御願い申上候

五月三十日 荒田すか

仁川警察署長樣

尚吾妻は開城にて死せんとせしも或る惡漢に係り死ぬこともならず死するよりつらい思いをなして暮らし居る中發見せられたるものなりと



紳士の遊興振

▲宇佐川一正君

陸軍中將東拓總裁の君は二宮尊德翁の勤儉主義を奉じ握飯に徒歩主義を標榜して現職に就かれた人である、明治町附近を朝の九時頃に通行する人は他の重役及高級社員等が御手車に打乘り勢能く東拓事務所へ向ふに引替へ偉大なる體軀を倦怠さうに運びダラ〳〵する汗をハンカチで拭ひつゝテク〳〵徒歩主義を實行しつゝある君を見るであらふ、君が總裁としての適否は茲に言ふの要なし只一万八千圓の年收を得て大に貯金の餘裕あるに拘はらず徒歩主義を實行して社員の模範となるを心掛けらるゝ心底を感心に思ふ、斯樣な性格なるにも不拘君が遊興振は軍人肌でなく寧ろ相塲師肌にて如何に酒を呑むも野暮な大言壯語杯をする事もなく何時も爪彈で得意の都々逸「アノ聲でトカゲ食ふかや山杜鵑」を唄ふ其聲と云ひ節廻しと云ひ所謂軍人放れをして居る、處が杜鵑がトカゲを食ふが如く君も醉つて興に乘すれば藝妓を口說く事もある併し其口說き方が又一風變つて必ず目星を附けた藝妓は別室に連れ込んで直談判を爲し他をして其成效不成効を知るに由なからしむるこれも畢竟仲尼のコンミッションを省く所謂二宮主義であらふ尚ほ一時問題となつた君が初めて入京の際軍服帶劍で來たのも實は總裁としての旅費を取つて居ながら軍人として汽車の割引を取る爲めであつたと云ふ事を聞いては君の勤儉主義の極端なるに啞然たらざるを得ない

次は中村再造君

●関宮相の差押

湖南鐵道問題は政府に於て買收したるに依り一段落を告げたるが此程古城管堂氏は其筋へ向つて關宮內府大臣に對し差押を申請したる由なるが其理由は湖南鐵道會社が曩きに古城氏より萬五千圓を借入れたる際關宮相が之れが證人となり居たるに依り保證人たる關宮相に向つて此の手續きに及びたる次第なりと

●洗張屋の横領 當地蓬萊町一の四一魚商桐山松次郎（三十）は本年三月頃御成町にて洗張業岡本松次方の注文取として雇はれ中同四月頃本町一丁目松本方より受合ひたる米澤男袷一枚（代十五圓餘）を南大門通福田質店へ三圓五錢にて入質費消したる事を長野刑事に發見され昨日南部署に引致

●糞賣り說諭さる 東部仕十里里門洞四統二戸李海順（五十）は昨日午前十一時頃若草町の路傍に於て糞に糞便を浸して農民に販賣し居しが其れが爲め通路を汚損せし爲め說諭を加へらる

●花月樓の新妓 花月樓抱にて昨日中檢より現はれたるは光菊とて長崎市の生れにて嶋屋はまとて戸籍簿にては明治二十七年生れなれど一見十七八才に見ゆる大柄にて中々の別嬪なりと

●腸窒扶斯患者 櫻井町三十六番戸夏目末吉は去る七日以來病中の處昨日大韓醫院にて腸窒扶斯と斷定せらる

●公判だより 今廿五日法務院に於ける公判左の如し（午前十時）民事 上訴人堀力太郎、被上訴人申泰翊間、土地所有權確認及秋收稻返還請求▲上訴人大補濟、被上訴人三好和三郎間、約束手形請求▲上訴人加瀨和三郎被上訴人本莊咲代間、家賃金及賣掛代金請求 刑事 言渡窃盜山谷三之亟

演藝界

▲龍山座 過日來より當地壽座に於て開會中なりしエムパテー商會の活動寫眞は其後韓人部落にて興行し韓皇の天覽の榮を蒙りしが明廿六日より龍山座にて開演の筈なり

▲永樂亭 座長辰丸病氣の爲め休演中の處全快に付き今夜より再び開演の筈にて其讀物は左の如くなりと 戸田新八郎の傳（辰雄）後藤又一郎の傳（辰之助）水戸黄門記（呂昇）伊賀の水月松風の傳、伊達黑白論（辰丸）

▲歌舞伎座 本日の替り前「菅原傳授手習鑑」切「れ染久松」にして役割の重なる者左の如し 武部源藏（貴笑）よだれくり（稲高）櫻丸、久松（犀樂）久作（雀三郎）梅王丸、三介（三河藏）松王丸、市當）八重、戸浪（米花）よるれ染、善六、市猿）千代、質屋の母（歌之丞）

▲壽座 の米丸一座浪花節は頗る好人氣なり尚ほ一座に加はれる薩摩琵琶は好評を博しつゝあるが本夜の出し物常陸丸なりと

▲京城座 梅花美團は連日好人氣なるが今夜の替りは「月魄」なりと

家庭料理

◎本日のれ總菜 は「豚の味噌和へ」に願いましよう、先づ豚の肉を細かく切り三十分程湯煮きて目の荒き笊に取り水をかけて汚れを去り水をきり鍋に移し砂糖、醬油（味淋を加へれば更に可）適宜に加へて能く能く煮上げ初に赤味噌を摺り（豚が鹹く煮上り居れば味噌に砂糖を加へる）豚肉を之れに和へる

▲茄子の靑煮 中位の茄子の蔕を取り水洗ひをなし水氣を切つて薄く皮を剝き直ちに水中に投じてアクを拔きそれより水氣を切り土鍋に取り澤山の煮出汁と酒と砂糖及び鹽を少々加へて中火にかけ小なる鍋蓋をなし一度沸騰したらば味の加減を試て煮上る

揑造中傷無用のこと

小便も亦御斷り申候

▲阿片吸煙者が非常に增加した樣に思へる淸國人街は無論だが韓人街を通行すると一種異樣な阿片の臭氣に襲はれて嘔吐を催よす樣なことが屢々ある一層の取り締りあらんことを希望する（衛生家）▲統監旗は意氣に過ぎて藤公には不釣合であつたが曾禰子とは權衡が取れる世の中のことは乙なものだ（迷羊）▲日本人の賣春婦が顏色なきに引き換へて韓、淸側の賣春婦はニコ〳〵ものだ此れは此の方は公然であるから臨檢なんて云ふものがない計りでなく安値で而して更らに梅毒に感染する虞れが比較的少ないからだとかで一般の助平の足が之れに向ふからだ相な（淫賣通）▲長谷川町の或る飮食店の酌婦に源氏節の上手なのが居たが此の頃は何處かへ住み替へたのかしら（岡惚男）

▲曙町の湯屋の前の食料雜貨屋の十七八の娘さんの不行儀なことは驚く赤い湯布に脛も股も露け出して店頭の椅に腰を掛けて見て呉れと言はない計り縱許暑いからとて腐敗も仕まいにれ氣をれ付けなさい（若い男）▲京城組の隣りの魚屋の唄はアリヤア狂氣かい（得意の下男）▲自轉車だから途中で少し位い遊んで居たつて夫れ位の取り返しは一息吐く間だとて道草を食つてる小僧衆や若い衆を見受けるが夫れでは自轉車に乘せて使ひに出した主人の本意に悖るものだよ使ひは早いのは何程早くとも宜いものだ早過ると叱言を云ふ主人は無いから遠慮は無用にするが宜しいよ（老八）▲物の賣り聲にも寂を帶ぶもの淋し味の伸ふもの何んとなく優に艶なるもの氣味惡きもの小氣味よきもの陽氣なものと樣々である按摩の笛の音なぞは羈旅の客をして枕紙を霑ほはしむるものがある小雨ソボ降る春の旦、花賣りの聲を聞くなぞは優艶なもんだ納豆賣りの聲は我等の前途を祝福せる天の樂の樣曉の空に澄み透りて小氣味のよいもの、ホウヅキ賣りの聲は陽氣に意氣に、飴屋の吹く唐人笛の音は閑寂なもので、淡路島通ふ千鳥の戀の辻占賣は淋し味の勝つたもの、京城流にうどんやアそばやアと來ちやア色消しだがなアべやアきうどんの賣り聲は又捨て難い趣がある（紅）▲曲り角の出歯龜にオワイは小穢いね（小僧）▲彼れは賣りごゑでなくて買ひ肥だよ小僧見當が違ふぞ（係）▲指輪論は何うした双方兵古垂たりや（彌次）

マルソイド 斷新屋根材料 藤原支店 京城永樂町 電話壹八九番

●天氣豫報（自廿四日午後六時 至廿五日午後六時）

南西の風曇後少雨

廿三日 最高溫度（華氏）八六、〇 最低溫度 六二、六

廣告

銘酒

仁川港 釀造元 大森酒場

韓國一手發賣元 永島商行 京城日の出町一丁目（電話架設中）

土管瓦煉瓦

土管 陶榮商店の販賣する土管は模範的工場に於て最新米國式機械を以てし知名技師の注意周到なる監督の許に精製せられたる最良品なり

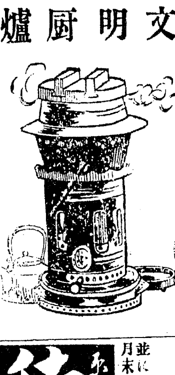
瓦 陶榮商店の販賣する瓦は同工場最新米國式機械製品にして酷寒耐久には重き注意を加へられたる最良品なり

煉瓦 陶榮商店の販賣する煉瓦は同工場最新米國式機械精製品にして他に卓越せるは當販賣元の最も誇とする良品なり

右特約一手販賣仕候間多少に不拘御用命奉願候

陶磁器卸小賣 官製煙草元賣捌 土管瓦煉瓦販賣元 （肥） 京城本町二丁目 陶榮商店（電話百十三番）

文明厨爐



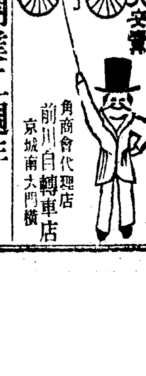
手間は金なり速に御使用を希ふ マッチにて點火（一切取ふづしを要せず）直ちに強熱を發し無烟無臭座敷にても用ひられ炊事速座に辨す石油消費誠に僅少便利經濟賞讃の外なし

一名下女イラズ（四十二年式大好評）

發賣元 大坂本町通渡邊筋角 島田支店（電話東一三三六）振替大坂三五八八番

特約店 京城本町通六丁目 木林文明堂

自轉車大安賣

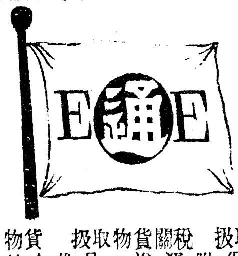


角商會代理店 前川自轉車店 京城南大門橫

祝開業二週年 並に支店開業御披露として六月六日より七月末日迄席料半額其他一切破格の勉强仕り候

待合 春日 [illegible]

店舖讓受けたし 營業の大小及場所を問はず成べく秘密を要す直接御申込みあれ 京城長谷川町一丁目 坂本兵太郎事務所（電話千百十四番）



貨物運送取扱 稅關貨物取扱 貨物引換證發行 危險擔保附運送 品代金付貨物運送

內國通運株式會社

京城支店 京城南大門驛前 電話七〇八番

仁川出張所 仁川驛前 電話五一一番

釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前電話六一六番 草梁驛前電話三三七番

龍山派出所 龍山驛構內 電話二〇六番

●眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せざる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

種 清酒本醸造販賣 其他一 諸工業用 京城明治町 (電話九七三番)

▲無料紹介欄▼

人事部

●資子募集 廿歳以上の男子六名入用 旭町一の六〇 旭町講賣所(二八〇)

●被雇度 年廿五永年大坂にて商業に從事す店飾りの心得あり給料不望確實保證人あり 氏名在社(二八三)

●求妻 年齢廿歳より廿六歳迄位にして品行方正身体強健なるもの男三十歳には統類なし月收六十圓 氏名在社(二八七)

●正派薩摩琵琶研究會 授教希望の方は申込あれ 京城壽町一ノ八番戶 會主 有馬良熊(二八八)

物件部

●土地賣物數十個家屋賣物澤山あり 本町民團役所前 佐々木

●賣家 京畿道利川郡利川に諸營業に適當の家屋あり地所共に金二百圓にて賣却す 京城三角町三 山內(二八二)

●コースター付上等自轉車中古格安に賣却し度し 氏名在社(二八六)

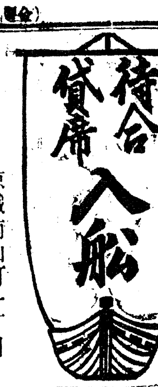
●貸家 南山町二丁目にて八疊と外に四間あり家賃臨時 氏名在社(二八九)

●大弓場貸地 旭町一民團役所燒跡附近一帶夏店にて遊歩に最適當なる場所に大弓場の貸地あり 氏名在社(二九〇)

廣告

梅毒專門 皮膚病一般
痔 注射療法(不要入院)
京城南大門朝市場櫻家旅館內 神戶資生院長
出張診察所
院長府立大坂病院專攻 元兵庫縣立福原驛梅病院醫長
醫學得業士 蘆田耕平
○貧力乏しき病者には割引又は施療を爲す

南山の風景を目前に眺め浴場の設備あり



京城南山町一丁目

大勉強 改良御料理 御一人前 金五十錢均一 御酒二本 御肴三品
西小門通り 東京樓

移轉廣告
今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉す
南大門外御成町紅葉館跡(茂呂運送店前)
開通 戶田病院 電話九三八番

緊急廣告
今般本社業務擴張の爲め從來京城旭町二丁目百五十番地所在の本社京城支局を廢し內部の組織を變更し京城旭町二丁目三十二番地に本社支局を設置し從來の如く牧山耕藏を支局長に山本芳甫を會計主任として勤務爲致候間此段廣告候也
明治四十二年六月廿二日
東京京橋區瀧山町八番地 株式會社日本電報通信社 專務取締役社長 光永星郎
追て本社京城支局主任と自稱する高村謹一氏とは何等の關係無之候間爲念申添候

開業御披露
本町二丁目本町座跡
ビヤホール共樂園
庭園の閑雅なる器具の清潔なる待遇の懇切なる價格の低廉なるは共に我園の誇とする所なり

東京火災運送海上保險株式會社
明治廿年七月創立● 資本金一千萬圓●
京城代辦店 本町四 山口吳服店 電話九
事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番

京城光化門通 淺田洋服店 店主 大島專藏 (電話四百十二番)

胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン 錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢 散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
蛋白脂肪消化 ヂゲスチン 錠劑十日分(三十粒入一瓶)三十錢 散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

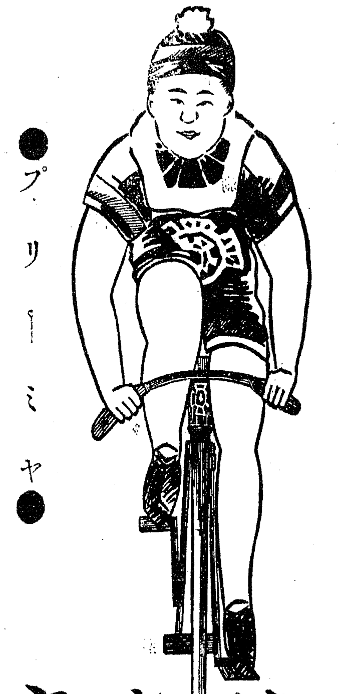
桶類 製造大安賣
明治町一丁目橫町通 矢野商店

鑛物鑑定及分析に從事す
本所は江湖の依賴に應じ誠實迅速に鑛物鑑定及分析に從事す
手數料は郵券一錢五厘御送付次第送呈す
擔當者は元鑛山監督分析署技師粟野德一
漢城鑛物分析所 路通一丁目 (電話二三八番)

三一館
焦心單志多年爲斯道雖於微奧旨恍然似有得者匪鑿推臆斷暾暾茫洋辭愈潤膽素面輕殺也
易斷觀相教授 京城本町五丁目
通信判斷一件一圓 特別二圓

辯護士 岩田仙宗
明治町二丁目七十五番戶 電話三五四番

懸賞大賣出



空前絕後の擧
●ランクル●
●プリミヤ●
好機逸する勿れ
御一報次第店員御伺申候
京城南大門橫 角自轉車商會
京城南大門橫 韓國總代理店 前川商店

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶橫小路(元花屋跡)
▲懇切の下宿▼ かめ屋

統監府御用 諸官衙 人力車 荷物荷造及運搬
伊藤組
本店 京城本町三丁目(電話四〇番)
出張所 同南大門驛構內(電話七三二番)

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目 原金旅館 (電話長一七〇番)

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣
明治時計製造會社 掛置時計韓國代理販賣
時計自轉車卸部 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店
時計小賣部 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話架設中

營業科目
活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞版 諸帳簿 製本裝釘
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新設致候間倍舊ノ御愛顧之程奉願上候也
日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話(三二三番)
東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

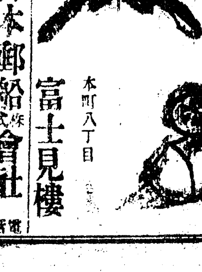
寫眞養成所新設
志望者ハ六月三十日迄ニ申込アレ 郵券封入アレバ規則書進呈ス
龍山元町三丁目(電話參貳番) 芦谷審美館

鴨綠江特種木材 九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
建築業 京城旭町三丁目 柴田芝六 電話五六八番

馬車配達
純良 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番
●滋養と牛乳● ●衛生と消毒●

高等會席 御披露 冷ビール付 御一人前一圓
明治町三丁目(東拓會社下際) 一力

會席御料理



本町八丁目 富士見樓

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番
●釜山長崎門司神戶行 山東丸 七月四日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 七月一日正午時出
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 七月二十日午前五時
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 七月二十二日正午
注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事
貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金四十五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲特別廣告五號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久太郎
發行所 京城 京城新報社